三陸沿岸道路 (仮称)気仙沼湾横断橋 小々汐だより

平成27年8月発行
第1号

ご関係の皆様には大変お世話になっております。工事の状況などについてお知らせ致します。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元:鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
TEL:0226-25-5661　FAX:0226-24-3341

工事の開始にあたって

現場代理人　合樂　将三

当工事の現場代理人・監理技術者を務めることとなりました合樂将三（ごうらく まさみつ）と申します。気仙沼湾を跨ぐ横断橋は気仙沼の皆様にとって長年の夢とお聞きしております。海上部の橋長が斜張橋としては東北最大の680mという気仙沼の新しいシンボルとしても期待されているこの意義深い工事に携われるということで、土木技術者としての誇りを感じるとともに、その責任の大きさに身の引き締まる思いでございます。

当工事は、気仙沼湾横断橋のうち海上部の橋脚1基（Ｐ１２）と、陸上部の橋台1基（Ａ２）を築造する工事ですが、気仙沼湾は漁船やフェリーが多数往来している他、わかめや昆布などの養殖場もございますので、海上での作業においては特に水質汚濁の防止と船舶航行安全に細心の注意を払って進めて参ります。

気仙沼市のさらなる復興のためにも、無事故無災害での竣工を目指し、安全第一で工事に取り組む所存でございますので、ご関係の皆様におかれましては、ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

下部工工事の合同安全祈願祭を行いました

平成27年7月6日（月）、朝日埠頭において、気仙沼湾横断橋のうち斜張橋部の下部工工事の着手にあたり、小々汐工区（鹿島・東亜ＪＶ）と松崎工区（東亜・不動テトラＪＶ）の２工区による合同安全祈願祭が、北野神社の菅原宮司のご奉仕により執り行われました。

安全祈願祭には、工事関係者のほか、発注者である国土交通省の縄田正東北地方整備局長をはじめ、前防衛大臣の小野寺五典衆議院議員、菅原茂気仙沼市長など約100名にご参列いただき、安全祈願祭神事並びに鍬入れ式が厳粛な雰囲気の中執り行われました。

小野寺衆議院議員からは、ご祝辞の中で「施工業者の皆様には、工期をいくら早めても構わないので、思う存分に工事を行ってほしい。」との激励をいただき、施工業者一同、工事の着手に当たっての決意を新たにしました。

参列者代表者による鍬入れの儀

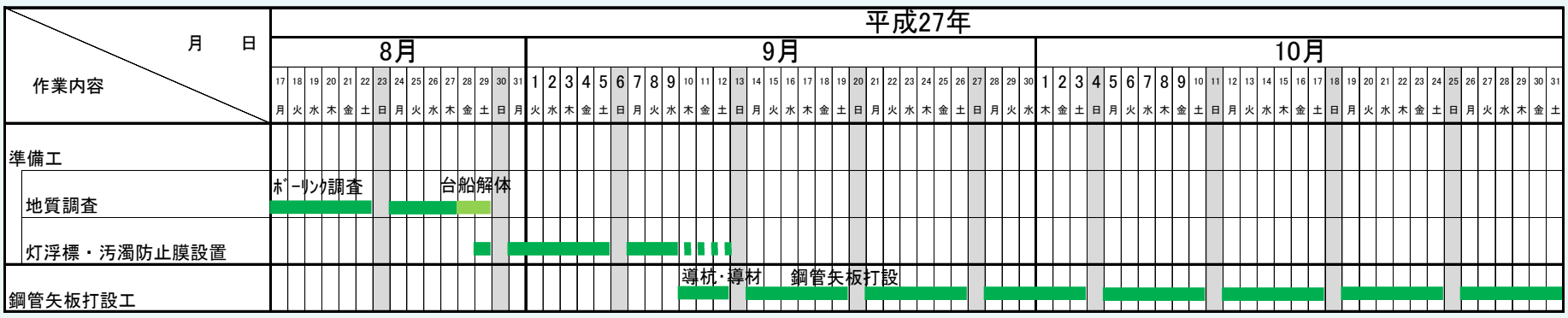
国土交通省 縄田局長

鹿島建設㈱ 増永専務

工事の安全と早期完成を期待する菅原茂気仙沼市長（左）と小野寺五典衆議院議員（右）

工事の予定

計画工程表



トピック

“海の市”２階に（仮称）気仙沼湾横断橋および大島架橋（愛称：鶴亀大橋）の模型とパネルを展示しています。（１Ｆから移設しました。）

気仙沼湾に架かる２つの橋がイメージし易いと思いますので、興味のある方は是非ご覧下さい。

また、気仙沼湾横断橋のパンフレットを作成し、各工事事務所の他、海の市、気仙沼市観光課などに置かせて頂いておりますので、こちらも合せてご覧下さい。

JV※マーク

KAJIMA・TOA JV

気仙沼といえば「フカヒレ＝サメ」ということで「J」の部分をサメのシルエットで作成。「V」の部分は「気仙沼＝海のまち」ということで海と波をモチーフにして作成しました。

（※ JVとは、Joint　Venture（＝共同企業体）の略です）

海からサメが飛び出す躍動感のあるイメージにすることで「気仙沼がさらなる復興に向けて大きく飛び上がる」ようにとの願いが込められています。